

- ① 主述の関係や語と語の関係などが適切である。
- ② 段落構成を工夫しながら順序立てて書いている。
- ③ 自分の述べたいことを、根拠を明らかにして書いている。

Ⅲ 研究方法・内容

- ・ 説明的文章の読解及び論理的な文章に関する意識調査と実態調査
- ・ 枠組み作文を使った指導法の研究
- ・ 使用教材の選定と活用
- ・ 評価の工夫

Ⅳ 研究の実際と考察

1 検証授業計画

- (1) 単元名 「現代社会を考える」
- (2) 検証の視点
 - ① 作文に関する意識調査を実施し、情意面の変容や認識の高まりを見る。
 - ② 論理的な文章の展開を把握する力の変容をワークシートの記述分析によって見る。
 - ③ 論理的な文章表現力の向上について、事前作文・事後作文・把持作文を分析し仮説の有効性を見る。

2 検証授業の実際と考察

【検証授業1】

- (1) 題材名「金星大気の教えるもの」
(3 / 7時)
- (2) 本時のねらい
中心的な話題を踏まえて、文章の展開をとらえることができる。
- (3) 授業仮説
文章や文末の特徴、接続語・指示語に着目して文章を読んでいけば、説明的文章の論理

的な展開をとらえることができるであろう。

(4) 指導の実際

前時の学習の中で確認した中心的话题をもとに、文章全体の展開をとらえさせる。

あらかじめ掲出しておいた中心的话题をもとに、それぞれの文の関係や役割について考えさせた。ワークシートに傍線や書き込みを自由にさせ、構成を決定づけるカギとなる表現にはラインマーカーで印をつけさせるなど工夫をさせた。3～4人ずつのグループとして自由に意見を交換し合いながら考えさせる方法をとった。グループ内でまとまったものを個々にワークシートに記入する。(資料1)

(資料1)

	段落		中 心 的 話 題
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 題材名「金星大気の教えるもの」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 文章の展開を確かめよう </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 三年(三)組 職員氏名 (丸) 班 </div>		一 ひときわ明るい大きな星を見ることがある。 金星があんなに明るく輝いて見えるのは、地球に最も近い惑星であるうえに表面が厚い雲に覆われていて、太陽の光をよく反射するからである。 昔の人は、地球以外の惑星にもきっと生物がいるに違いないと考えていた。 このような人類の想像に否定的な答えを下したのは、人類自身の手による惑星探査の結果であった。	
		事実 結果	文の役割
		(起)	段落の役割 <small>金星について、事実的な説明、自分の考え、対する結果</small>